

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について

1 調査結果

【国語科】

- 平均正答率 68%は、県・全国と比較し 1 ポイント程度高いです。
- 「読むこと」については、県・全国よりも 9 ポイント程度高いです。
- 登場人物の相互関係や心情について叙述をもとに捉える力が身に付いています。
- △資料を効果的に活用し、自分の考えが伝わるように表現を工夫することに課題があります。
- △目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題があります。

【算数科】

- 平均正答率 68%は、県・全国と比較し 5 ポイント程度高いです。
- 数量の関係を正しく捉え、式に表し、問題を正確に解く力が身に付いています。
- 円グラフの特徴を理解し、割合を読み取る力が身に付いています。
- △球の直径の長さとは立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことに課題があります。
- △道のりが等しい場合の速さについて、時間をもとに判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題があります。

【質問紙】

- わからないことや詳しく知りたいことについて、自ら進んで学ぶことができます。
- 周囲の励ましを素直に聞き入れ、自分の良さを認めていこうとする児童が多いです。
- 学校生活をよりよくするために話し合ったり、互いの意見を認め合ったりしながら解決方法を決めたりすることができています。
- △授業や家庭学習でタブレット端末の活用が低い傾向にあります。
- △早寝早起きができている児童が少ない傾向にあります。

2 結果を踏まえた授業改善

国語科の授業を中心に、電子黒板や拡大した資料の中で、伝えたいことの中心となる部分を示しながら発表する活動を取り入れていきます。また、自分の考えに説得力をもたせるための資料を選ぶこと、結論⇒根拠⇒解釈というステップで考えを書き表す場面を設定していきます。

算数科では「課題解決したい」という意欲を高めることができるように、授業の導入で具体物を用いたり、ICTを活用したりしていきます。また、学習内容の定着や日常生活との関連を意識できるように教室環境を工夫していきます。

自分の考えをノートに書く時間を確保したり、ペア学習やグループ学習などの話し合い活動を適切に取り入れたりとすることで、言語運用能力を伸ばしていきます。